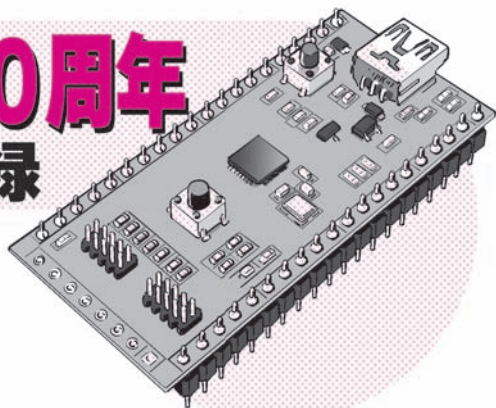


トランジスタ技術50周年 特別付録

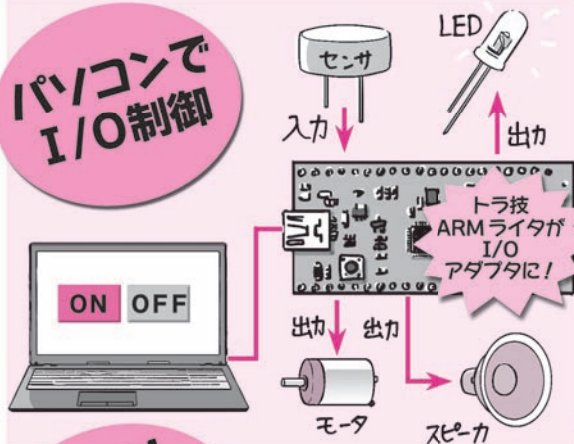


七変化!

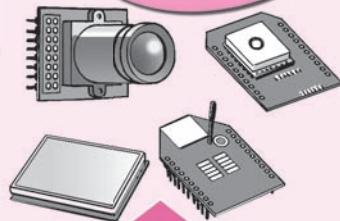
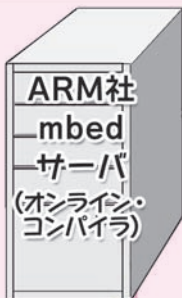
トラ技 ARM ライタ 誕生

USB I/O アダプタから
デバッグ、mbedまで

パソコンで
I/O制御



最先端の
クラウド環境で
高速試作!



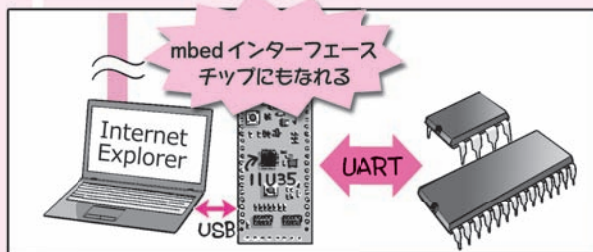
mbedにもなる
(開発検討中)

ARM
マイコンの
デバッグ

メーカー横断!
全 Cortex-M 対応!



mbed インターフェース
チップにもなる

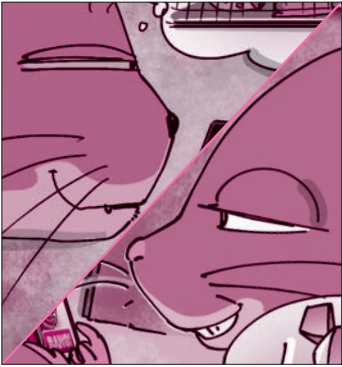


そして
またある
ときは
mbed?

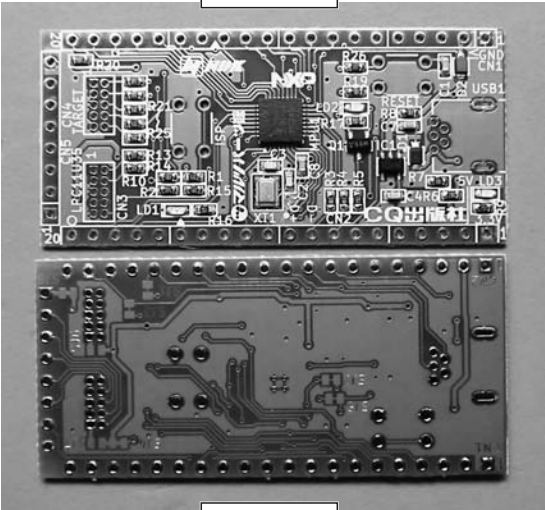
第1章 あるときはUSB I/Oアダプタ、そしてあるときはARMデバッグ

マルチな奴! トラ技ARMライタ誕生

島田 義人 Yoshihito Shimada



部品実装面側



はんだ面側

写真1 完成!トラ技ARMライタ
ファームウェアの入れ替えによって、デバッグになったりUSB-シリアル変換ボードになったり…

本誌には、写真1に示すUSBマイコン基板「トラ技ARMライタ」が付属しています。
32ビットCPU Cortex-M0とUSBインターフェース回路を内蔵するLPC1114が搭載されています。ファームウェアしだいで、パソコンで制御できるUSB I/Oアダプタになったり、ARMデバッグになったりします(図1)。

とにかくいろいろ使ってほしい

- 応用1…汎用のUSBアダプタ
USBケーブルを介してUART通信ポートをもったモジュールや他のマイコンとシリアル通信ができます。パソコンからXBeeモジュールの設定を変更したり、LPC1114やLPC810などの他のマイコンにプログラムを書き込んだりできます(写真2)。つまり、先月号で紹介したUSB-シリアル変換モジュールMPL2303SA(写真3)と同じ機能をもたせることができます。

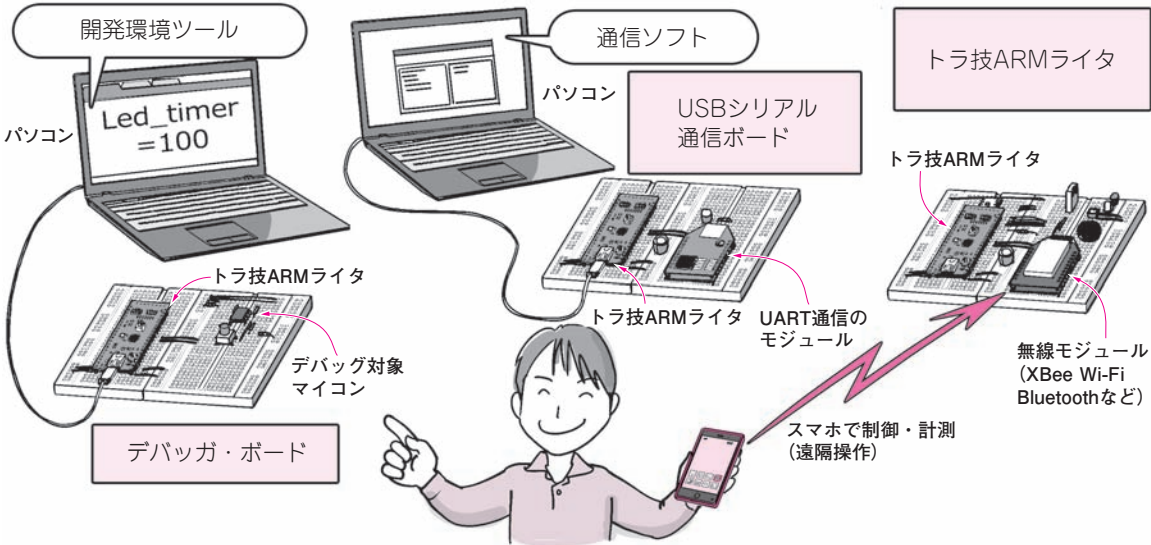


図1 トラ技ARMライタはいろいろ使える

● 本3月号の特集と特設記事、そして次号4月号の関連記事の実験製作に使えるソフトウェア類は、本誌ホームページ(<http://toragi.cqpub.co.jp/>)の特設サイト「8ピンDIP ARMエントリ誕生」で公開しています。
(編集部)